


メーカー会員得意分野



1. アーク・プラズマ	2. ヒートポンプ
3. 赤外線(近赤・遠赤)	4. 高周波誘電・マイクロ波加熱
5. 誘導加熱	6. 抵抗加熱
	7. その他()

1. 会員種別	2. 会員名	3. 所在地	4. 主な電気加熱(冷却)方式							5. 保有している技術	6. 主な製品	7. 特記事項	
			1	2	3	4	5	6	7 ()				
正	富士電波工機株式会社	埼玉県鶴ヶ島市富士見6-2-22								○ パルス通電加熱	<p>1. 電磁波(高周波誘電加熱・マイクロ波加熱)応用技術(接着・溶着・乾燥・加熱・プラズマ)</p> <p>2. 電磁波(高周波誘導加熱)応用技術(溶解・溶接・ロー付け・焼鈍・焼入れ・材料試験研究装置)</p> <p>3. 放電プラズマ焼結技術及びその応用技術、温度傾斜焼結技術、ナノ精密焼結技術、衝撃圧縮材料合成技術</p>	<p>1. 高周波プレヒーター・半導体及び電子管式各種電源・高周波誘電加熱・セラミックス乾燥装置・マイクロ波応用装置・高周波減圧加熱乾燥装置・マイクロ波減圧加熱乾燥装置・触媒反応装置</p> <p>2. 高周波誘導加熱装置(浮揚溶解装置、連続鑄造装置、連続表面コーティング装置、焼ばめ装置、真空(大気)溶解炉、焼入れ装置、ピレットヒーター、ロー付装置)・材料試験研究装置(フォーマスター、サーメックマスター、サーモレスター、通電加熱装置、熱サイクル再現装置)</p> <p>3. 研究開発用・生産用放電プラズマ焼結装置(SPS装置)・高速飛翔体試験装置・雰囲気制御グローボックス付SPS装置・超高真空材料合成装置・磁性材料研究開発用材料合成装置・熱電半導体研究開発用材料合成装置・ナノフェーズ材料研究開発用材料合成装置・機能性材料研究開発用材料合成装置</p>	<p>高周波やマイクロ波を用いた電磁波による加熱技術です。電磁波そのものは、CO2を排出せず、環境を悪化させないクリーンなエネルギーです。雰囲気加熱せず、被加熱物のみを加熱します。よって他の加熱方法に比べ立ち上がりが素早く、高効率を得ることができます。</p> <p>高周波誘電加熱・誘導加熱・マイクロ波加熱・通電加熱の電源をはじめ各種デバイスから自社にて設計、開発をしています。</p> <p>通電加熱(放電プラズマ加熱)・磁性材料研究開発用材料合成装置、熱電半導体研究開発用材料合成装置、ナノフェーズ材料研究開発用材料合成装置、機能性材料研究開発用材料合成装置</p>